

未来へ

No one left behind



学校ホームページ



自分を信じて！

3年生が、放課後、面接の練習に取り組んでいます。来週から行われる私立高校や公立高校前期選抜の受験に向けた取組みです。校長、教頭はじめ複数の教職員が面接官役となり、想定される質問を投げかけます。「どうしてこの高校を選んだのですか?」「中学校で頑張ったことは何ですか?」などの質問に、自分の言葉で堂々と応答する3年生の態度に頼もしさを感じます。3年生のこのような姿は、これまでの学びの成果です。自分を信じて進路を切り拓いていく3年生を、しっかり応援したいと思います。

GRIT

1/10 (火) 3学期始業式の校長講話を紹介します。
・・・新年にあたり「進路」としっかり向かい合って目標を立ててみましょう。特に3年生は、これから受験などの壁が立ちはだかっています。自分の力を信じて、進路を切り拓いていってほしいと思います。進路を実現し、成功を収めるためには、「やりきる力」が必要です。「やりきる力」を、GRIT (やり抜く力) と言い換えて、定義してみましょう。アメリカのペンシルバニア大学のアンジェラ・リー・ダックワース教授は、「社会的に成功を収める要素は、才能やIQや学歴ではなく、GRIT (やり抜く力)こそが最も重要である。」と提唱しました。GRITを翻訳すると、「闘志・粘り強さ・自発・執念」です、昭和のスポコンアニメに出てくるようなこうした能力を高めることが、なりたい自分になるために道を切り拓く力につながっていくのです。3学期、進路の実現に向かって、必ず成功に到達できるみなさんであってほしいと思います・・・

GRIT (グリット) = 「やり抜く力」



アンジェラ・リー・ダックワース教授 (アメリカ) 提唱

G uts (ガッツ) 困難に立ち向かう 「闘志」	R esilience (レジリエンス) 失敗しても あきらめずに続ける 「粘り強さ」	I nitiative (イニシアチブ) 自らが目標を定め 取り組む 「自発」	T enacity (テナシティ) 最後までやり遂げる 「執念」
---	--	--	--

GRITを高める方法

1. 興味があることに打ち込む
2. 失敗を恐れずチャレンジし続ける
3. 小さな成功体験を積み重ねる
4. GRITがある人のいる環境に身を置く